

体罰・いじめアンケート集計結果について（お知らせ）

6月9日から6月17日にかけて、「教職員の指導に関するアンケート（体罰調査）」と「いじめに関するアンケート（いじめ調査）」を実施しました。保護者アンケートに回答をいただいた数は、今回長子保護者211名中194名（回収率約91%）でした。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。その結果と今後の対応についてまとめましたので、お知らせいたします。

体罰について

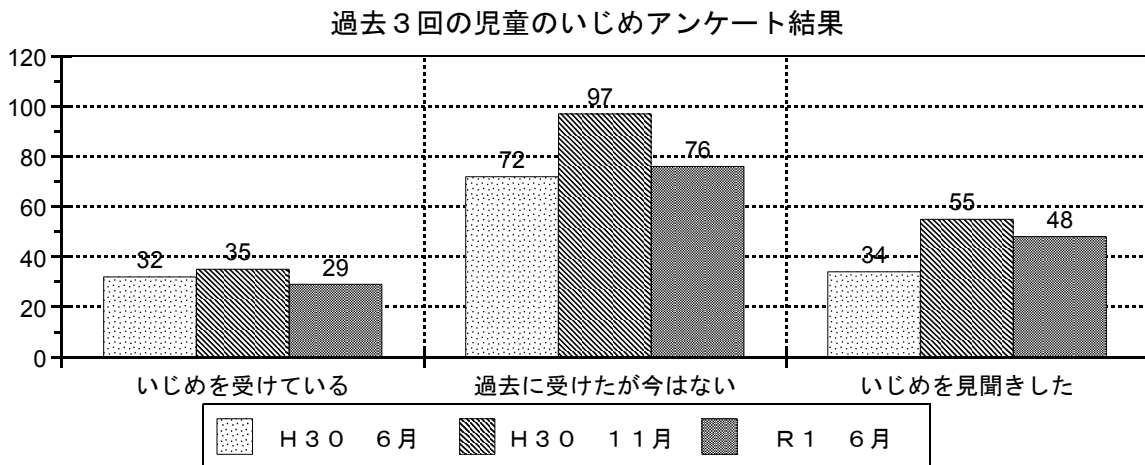
アンケートから「明らかに体罰ではないか」という具体的な回答はありませんでした。しかし、「指導が厳しすぎるのではないか」というご意見を含めて体罰の疑いのある報告が数件ありました。教職員個人が特定できるような内容については、保護者名は出さずに校長の方で聞き取りや指導を行いました。

また、教職員全体に対しても、これらのご意見をもとに、改めて全職員で児童に対する指導のあり方について共通理解を図りました。特に「児童の前で教職員がお手本となるような言葉遣いを心がける」「注意が必要な場合も感情的になって怒らずに、相手に分かるよう叱る」といった点を心がけ、体罰と懲戒（指導）の違いをはっきりともし、今後の生徒指導に生かしていきたいと思えます。

いじめについて

【アンケートの結果】

① 「いじめを受けている」と回答した児童数

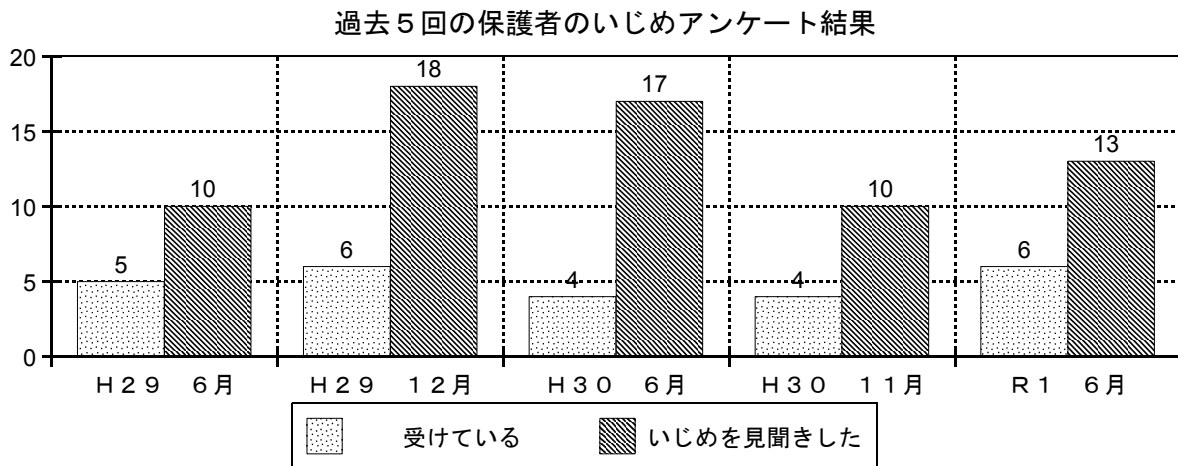


昨年度6月のから3回の調査を見てみると、今年度はどの項目もやや減少傾向にあるようです。しかし、「いじめを受けている」という訴えが30件にもものぼっていることや、「無視」「仲間はずし」「悪口（暴言）」といったような子どもたちからの記述があったことを重く受け止め、よりきめ細やかに子どもたちの様子を観察したり、話を聞いたりしていじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めたいと思えます。

また、「過去に受けたが今はない」の項目については、昨年度の11月調査と比較すると大きく減少しています。これは、日常的な指導を含めて道徳や学級活動、人権教育授業の継続的な取り組みにより、「いじめ」の不当性や不合理さに気づいたり、友だち同士のふれあいや良好なコミュニケーション活動が活発に行われていたりする成果だととらえています。

今後も、学校におけるすべての教育活動を通して「自分」や「友だち」を大切に作る心、相手の立場や気持ちを思いやる優しさなどをしっかり培っていきけるような工夫を続けていきたいと思えます。

② 「いじめを受けている」と回答した保護者数



過去3年間を通して、今回の6月調査では「いじめを受けている」と回答した保護者が6名であり、いちばん多くなっていることが気になります。また、「いじめを見聞きした」という回答も13名であり、過去3年間で2番目の数字でした。この数字だけで一概にいじめの疑いがある事案が増加している、あるいは減少しているとは言いきれませんが、「わが子はいじめを受けているかもしれない」という「いじめ」への懸念について、保護者の方々が依然として高い関心や意識を持たれているということを受止めて取り組んでいきます。なお、学校だけの対応では十分な効果が得にくい事案が起きることも考えられます。保護者（家庭）と学校が一体となって互いに協力し、理解し合える関係づくりもより一層進めていきたいと思っております。

【これからの対応】

このアンケートの結果を受けて、学校では次のような対応をしていきます。

- 児童アンケートは無記名ではあるが「話を聞いてもらいたい」の欄に記名をしていた児童からは担任が聞き取りを行います。必要に応じて保護者に電話等で確認します。
- 同じく保護者アンケートで「いじめを受けている」と回答した保護者のお子さんについては聞き担任が聞き取りを行います。必要に応じて保護者に電話等で確認します。
- いじめの疑いのあるものについては指導を行います。学級や学年全体への指導にも生かします。
- 人権教育の担当からは「心のアンケート」も定期的の実施し、改善が図られたかの追跡確認をします。

保護者アンケートからの声（抜粋）

※これらのご意見に対しても個別の聞き取りや学級全体に対する指導をしています。

- ◆ いじめなのかはわからないが、たたかれたり、嫌なことを言われている。
- ◆ 仲間はずれにされたり、「友だちじゃない」と言われたことがあるそうです。
- ◆ お友だちが蹴られたり、殴られたりしたのを子どもが見ていた。また、その子の親から相談を受けたことがある。
- ◆ 遊ぼうとして一緒に仲間に入れてくれなかったり、転んだ時に「ば～か」と言われたり、「大声を出せ」と言われ、出さないと〇〇するぞと言われて「嫌だ、違う学校に行きたい」と言っていたことがあります。
- ◆ 友だちから仲間はずれにされたことが数回あるようですが、他に助けてくれるお友だちはいるようなので、気にかけるほどではないようです。しかし、高学年になるにつれて少し心配です。
- ◆ 何もしていないのに、たたかれたことがある。
- ◆ ふざけて首をしめられている子どもがいることを聞いたことがある。
- ◆ 友だちに「うざい」と言われ、首元をつかまれたことがある。
- ◆ 本人が納得しているのならよいが、たまに言われて嫌なあだ名があるようです。
- ◆ ひどいいじめはないと思いますが、仲間はずし・陰口・嫌がらせはあっていると思っています。それが大きな問題にならないければよいのですが。
- ◆ いじめとまではいきませんが、外見のこと（ニキビや毛深いなど）を言われ、嫌な思いをしたようです。